

氏名	越智幸一	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	発達心理学・教育心理学・臨床発達心理学				
学位	修士（人間・環境学）				
学歴	1993年京都大学 教育学部 教育心理学科、95年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻修士課程、98年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻博士課程				
経歴	1998年旭川大学女子短期大学部助教授、2007年西オーストラリア大学心理学科客員研究員、08年旭川大学女子短期大学部准教授、09年旭川大学女子短期大学部教授、13年鎌倉女子大学短期大学部教授、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部				
所属学会（役職）	日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本保育学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	子どもの人権と保育の実践	共著	あり		教育文化研究(第14号),1頁-16頁	寶川雅子、 <u>越智幸一</u>	2023.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	保育の心理学Ⅰ	○	15	パワーポイントのスライドとビデオ資料とを有機的に組み合わせ、学生にとって子どもの発達を理解しやすい工夫をした。			
2	保育の心理学Ⅱ	○	15	さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実践的な知識を身につけてもらえるよう工夫をした。			
3	心理学①	○	15	授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをするなど、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。			
4	心理学②	○	15	授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをするなど、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。			
5	幼児と人間関係	○	15	さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実践的な知識を身につけてもらえるよう工夫をした。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	乳児保育Ⅰ	○	15	さまざまな事例についてグループワークの形式で取り組んでもらうことにより、保育現場で求められる知識やコミュニケーション能力の向上を目指した。			
2	乳児保育Ⅱ	○	15	子ども役、先生役、保護者役などを設定し、学生にロールプレイをしてもらうことにより、知識や技能を実際に保育現場で生かせるよう工夫した。			
(3) 実習							
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	ヒューマンケア体験実習	○	2022.9	科目責任者として科目運営に携わった。			
2	保育実習Ⅰ A		2022.4～2022.9	事前事後指導、訪問指導を行った。			
3	保育実習Ⅱ		2022.4～2022.9	事前事後指導、訪問指導を行った。			

4	保育実習Ⅲ		2022.4～2022.9	事前事後指導、訪問指導を行った。	
5	教育実習（幼）Ⅰ		2022.4～2022.9	事前事後指導、訪問指導を行った。	
6	教育実習（幼）Ⅱ		2022.4～2022.9	事前事後指導、訪問指導を行った。	
7	保育実習ⅠB		2023.2～2023.3	事前事後指導、訪問指導を行った。	
（４）論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2022.4～2022.11	主指導	3名	副指導名
（５）その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし				
4．社会貢献活動					
（１）講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	こどもと保護者の心理学入門研修	横浜市こども青少年局	こどもと保護者の心理学入門		2022.8
2	全国保育士養成セミナー分科会	全国保育士養成協議会	一人ひとりを大切にする保育とは ～基調講演を受けて～（司会）		2022.8
3	横浜市実習指導者研修	横浜市こども青少年局	横浜市実習指導者研修		2022.11,12
4	東京都千代田区子育て推進課主催研修	東京都千代田区	リーダーシップを発揮した保育組織の活性化		2023.3
（２）国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期
1	越谷市社会福祉審議会児童福祉専門分科会		委員（分科会長）		2021.4～現在
2	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会		理事		2022.4～2023.3
（３）ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称		内容		年月
1	該当なし				
（４）その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	該当なし				
5．学内運営					
	項目	内容			期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	福祉子ども学専攻専攻長			2022.4～2023.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス			2022.8
3	学科等における委員会等	保育士審査委員会			2022.4～2023.3
6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名		主催		受賞年月
1	該当なし				
7．特許の取得					
	特許名		特許番号		登録年月
1	該当なし				
8．特記事項					
1	該当なし				